

平成23年度 財団法人 愛知健康増進財団 医学研究・健康増進活動助成活用報告

助成事業種類:

保健衛生分野

名称:

震災で明らかとなった電子版お薬手帳の必要性

概要:

東日本大震災発生後、被災者が投薬情報を医師に的確に伝える事が出来ず、医療現場では大変な混乱が発生した。その対応策として、携帯電話メモリー内に投薬情報等の個人情報(既往歴、現病歴等)を保管し、必要に応じて医師等に伝える手段を構築する必要性がある事を痛感した。

また、当法人では、特定健康診査や後期高齢者健康診査の電子化処理を実施しており、健康診断の受診歴情報も特化した、健康管理情報ツールの開発に取り組んでいる。

特に、高齢者では情報管理を維持するうえでの個人情報を、親族(配偶者や子供)が共有することで、それらの情報のバックアップ体制での運用も視野に入れている。当然ながら、投薬情報等は機微な個人情報として、プライバシー保護を十分配慮した取組としてその実施をおこなう。

申請理由:

今日の携帯電話機能は多種多様であり、高齢者に対するサポート機能を有するアプリも数多く存在している。今回、お薬手帳情報を携帯電話内で保管することで、医師や薬剤師等に対し、正確なお薬情報を初めとする医療情報を提供することが可能である。携帯電話は、非常時(震災時)の連絡手段として通話やメールは有効であり、また位置検索機能等で高齢者のライフスタイル維持に欠かせない状況でもある。

一方、携帯電話の保有率は高齢者でも高く、緊急時避難の必要なアイテムともなっている。

今回、医療機関や薬局等の協力を得て、健康診査結果と、お薬情報を中心として情報を一括で保管管理が出来ることで、高齢者等のQOLを確保する事を目的としている。

受領報告:

平成24年2月13日、特定非営利活動法人健康情報処理センターあいちは、財団法人愛知健康増進財団の医学研究・健康増進活動助成事業において、保健衛生分野で助成金を受領いたしました。

